

福岡県動物愛護推進員ニュース「絆」第10号

福岡県動物愛護推進協議会：<http://www.fukuoka-douai.jp/>



絆



2012 Kizuna The tenth anniversary

これからの人と  
動物との暮らしを考える一冊



人と動物が共生できる社会づくりのため地域に密着した動物愛護の普及啓発活動ニュース

福岡県 社団法人 福岡県獣医師会

きずな  
つづくこと  
あきらめないこと

あきらめても あきらめても  
こころがひきさかれるように気になること

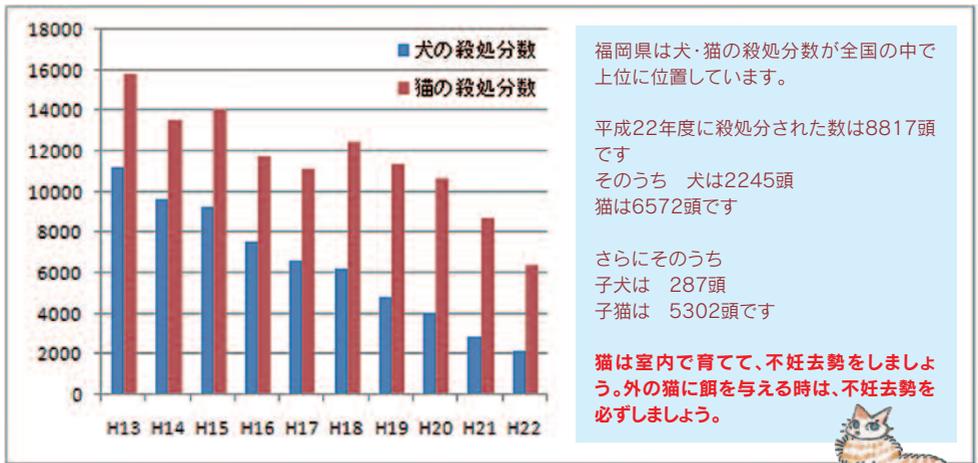
きずな ちがうものを むすぶこと  
きずな つらいときにしんかをはつきする

きずな じゅんぷうまんぱんな ときにはかくれている  
かくれているけれど つちかうもの  
そだてるもの



けして すてることのできない  
こころの きずなを  
あなたと あなたのどうぶつにも結べるように

どうぶつを育てることの 深い味わいが  
あなたのもとにも 届きますように  
あなたに たくさんの きづきがおとずれ  
あなたと よいことが つながりますように



福岡県はかつて犬・猫の殺処分数が全国ワースト1位でした。残念なこと、それは長く続きました。多くの人達がそのことを知りませんでした。

福岡県では、悲劇の動物を生みださないために、よい譲渡・よい飼い主育て等の啓発活動をしています。

県関係機関・獣医師会・動物愛護推進員・その他愛護団体とも連携しながら数々の努力を重ねて、その数は減少をしています。素晴らしいことです。

しかし、これで満足してはいけません。課題とするのは、その活動の「質」です。

譲渡された動物の福祉は守られているのか？  
 譲渡された家庭は適正な育て方を学ぶチャンスを与えられ、満足をしているのか？  
 譲渡された家庭のご近所の方が、迷惑に感じるような事になっていないのか？

課題は多く「考える」ことは人としての一生の「仕事」です。

県動物愛護センターでは褒美を主に使ってトレーニングした子犬を譲渡しています。

譲渡する時は、その日の気分やいきおいですぐにもらい手を決めないように、事前講習会では「あなたは本当に犬が飼えますか」というお話をした後、各ご家族とカウンセリングをします。これは、動物をむかえて「本当にしあわせ」になってもらうための大切な過程です。

講習会三日後、譲渡会があります。譲渡動物がきまったら育て方のご案内を個別にします。

譲渡四か月後、センターでは家庭訪問に出向き、わんちゃんの様子を見に行きます。

その後、しつけ方教室一般コース・子犬コースの案内があり、希望者は参加でき、フォローアップができるようにしております。

## 推進員ニュース「絆」第10号発刊にあたって

推進員ニュース「絆」の記念すべき第10号発刊をお喜びいたします。

この10年間、様々な課題を抱えながらも、それを解決すべく、動物愛護法も改正され、様々な対策が実施されているところです。今後とも更に、動物愛護の普及啓発活動が推進され、人と動物のより良い共生関係が構築されることを切に願いましたく存じます。

福岡県動物愛護推進協議会会長 北九州市顧問 小野 勇一



動物愛護センターから、子犬を譲渡してもらうためには、必ず事前講習会を受けなくてはなりません。なぜ、この講習会を受けないと犬を飼うことができないのか、みなさん考えたことがありますか？

その答えは『動物愛護センター』という施設の存在です。この答えの意味がわからない方は、犬を飼う・飼わないに関係なく、事前講習会に参加して、その答えを学んでください。そして犬を飼いたいと思っている方、どんな理由で犬を飼おうと欲している方も、まず家族全員で『犬』について学び、あらゆる「なぜ」と「もしも」を考えてください。「なぜ犬なのか」「なぜ、その子(種類)なのか」「なぜ今、飼おうとしているのか」「もしも家族が病気になったら…入院したら…」「急用で数日、留守になったら」「災害が起こったら…」等々。



## 「命」の重さはみな同じ 中学1年 とわびあの(ペンネーム)

「命」を預かる事。それはどういうことなのでしょうか？

私はそのことについて深く考えさせられたことがあります。

今、私の家には犬がいます。

去年の五月に福岡県動物愛護センターから譲渡してもらった犬です。

みなさんは動物愛護センターを知っていますか？

動物愛護センターとは、捨てられた犬や猫を保護して殺処分をしたり、譲渡したりするところです。私は今まで何度か犬を飼いたいと思ったことがあります。しかし、家族の中で命を預かるとはどういうことなのかよく考えた上で飼おうということになり、実現しませんでした。ですが、去年の五月やっとその機会が訪れたのです。

初めて動物愛護センターに行き、犬を飼う人のための講習を受けました。そこで実際に保護した犬を殺処分している人の話を聞く中で、私達人間が安易に犬や猫を飼う現実、加えて「犬を飼うことがこんなに大変とは思わなかった」と保健所に連れて行き、最終的に殺される運命をたどっているつらい現実を知りました。

譲渡会当日。初めて愛犬を見た時は、とても寂しそうな顔をしていました。側に近寄って体をなでてみると無防備な姿で「行かないで…」と私を見つめるのです。人間に見捨てられてセンターに来たのに、また人間を信じようとするなんて…

私には信じられませんでした。人間不信になってもおかしくはないのと思いました。

我が家に譲渡された当初はエサもあまり食わず、不安そうな顔をしていました。私はとても心配しましたが、翌日になって散歩に出てみると緊張の糸がほぐれたのか、足どりも軽く元気に走り出しました。1ヶ月もたつ頃には、すっかり慣れエサも喜んで食べたり気持ちよさそうにお昼寝をする姿が見られるようになりました。

人の生活スタイルは、必ず変わっていきます。今日と同じ日はありません。何かあったとき、誰が犬を守ってくれますか？

犬を迎えると決めたならば、その子に対して、時間がない、忙しい、面倒くさい、人の都合で仕方がないなどと言わないでください。動物を飼うことは日々、苦労の連続です。その中から幸せを見出せるかは飼い主さんしだいです。

**知っていますか？センターから犬を譲渡された10%の方が「犬を飼って悪かった——犬を飼わなければよかった」と言っていることを。10年間かわらず、この声が聞かれることを。**

最後にもう一度考えてください。あなたは、この一割の人にならず、本当に何があっても犬を飼い続けることができますか？犬であれ猫であれ、私たちと同じ重さの『命あるもの』であることを忘れないでください。

嘉穂・鞍手支部 宇野 匡代



私は犬を飼う以前のようにいろんなところに出外する機会は少なくなりました。しかし愛犬の話題で家族の会話も増え、充実した日々を過ごしています。

福岡県は犬や猫の殺処分頭数が全国の中でも上位に入るそうです。



悲しい現実を無くす為に愛護センターではしつけ教室を開いたり、私が出会ったように譲渡が出来るような犬を譲渡したりして、少しでも殺処分が少なくなる様に活動されています。

私は犬を飼いたい気持ちから始まり「命」の重みを改めて知りました。愛護センターに行く前は命を預かる事に伴う責任について深く考えませんでした。実際、自分で世話をしてみると犬も人間と同じ大切な命でした。

私は嫌な気分や経験をした後、次の行動に出るときは戸惑う事があります。犬には人を恨んだり後悔する気持ちはありません。でも、犬も人間と同じようにうれしい気持ちや楽しい気持ちは持っています。犬の寿命は人間より何倍も速いスピードで過ぎていきます。

私も楽しい気持ちやうれしい気持ちを積み重ねて笑顔で生活していきたいです。そして不幸な思いをする犬達が少なくなるように願っています。

犬と信頼関係をつくりましょう

「信頼関係？犬と？そんなものないよ」  
そういう専門家もいるでしょう

信頼関係とは育てるものです

けっして 手放せない 棄てられない 関係  
それは 育てていくものです



信頼関係を育てる しつけ方を推奨している教室を選びましょう

しつけ方教室が 各地で行われています。

人間のお子さんの保育園や幼稚園や小学校を探すように  
飼い主さんもたくさんお勉強して、教室見学をしましょう♪

よい教室をみめくためには 知識と審美眼が必要です  
たくさんの情報を得て お勉強をすることをおすすめします

できたら 本を読むのもセミナーを受講するのも  
複数選んで 選択眼を身につけ

ご自身とご自身の犬のタイプにあったものを  
選ばれることをお勧めします

最終ページに 各地で開催されるセミナーのご案内をしています  
ご参考にされてくださいm(\_\_)m



センター譲渡犬のくうちゃん  
です

まるで、ボーダーコリーか  
フラットコーテッドレトリバー  
か？というようにすこやかに  
育っています

飼い主さんはこつこつとしつ  
けレッスンに通ってくうちゃん  
との日々を楽しんでいます♪



年末に 保健所から 愛護センターに送られて来た  
子犬がいました どこで年を越すかが悩みの種でした  
職員さんも年末年始の休暇は必要です  
この白い子犬は 初対面の職員さんに 歯をあてました  
それから 慣れないサークルにいて  
いろいろな人と犬をみて 吠えていました  
首輪をしたらパニックになりました  
暗がりで見えたことのないものを見て叫び声をあげました  
おもちゃを持っていないと何でも咬んできます  
難しそうなコなので しつけ教室で  
年末年始お預かりをすることになりました  
まずは 落ち着いていられるお家(ハウス)を教えました  
おしっこをする場所を 教えました  
すべてを 楽しめるように 教えました  
おもちゃ遊びをたくさんしました  
他の犬ともトレーニングしました  
人からさわられることに慣らしました  
人間を大好きになりました  
だからキラキラした目で飛びついてくるのです  
まだまだ 配慮は必要 お勉強なして  
この子犬を育てる事は 難しいように思えます



子犬を欲しいと いう人が 見に来ます  
小さな 子供が 「かわいい」と言ってみにきました  
「紀州犬を飼っていたから もう私は犬をわかっています」  
そう言う人もいます  
初対面でまず咬んでくるこの犬をみて「何故なのでしょう」  
と言う人もいます  
この子犬が 本当のしあわせを 手に入れるためには  
どれだけの 課題があるのでしょうか  
「咬んで来たら たたけばいいですよ」  
こう言うてしまう人には 譲渡はできません  
たくさんの社会化 たくさんのトレーニング  
たくさんのおもちゃ遊び たくさんの学び  
たくさんのかかわりをしてくださる人のもとに  
この春 このコは譲渡されました



センターボランティア



土生亜紀子先生(福岡市在住)によるしつけ教室を  
大牟田市労働福祉会館で開催しました。  
DVDやパワーポイントを使用しての2時間休憩なし  
の講習でしたが、70人の参加者は最後まで熱心に  
聞き入っていました。講習終了後も約20人が残られ  
個別の相談があり、特に室内犬の問題行動に質問が  
多かったです。

大牟田支部

小学校低学年に対して、「学ぶ時間」と「ふれあいの時間」の構成による愛護教室を開催しています。「学ぶ時間」では動物の習性等を理解してもらうことで、動物による事故を防ぐことを目的とし、「ふれあいの時間」では動物のかわいさ・温もりや鼓動を感じってもらうことで、動物や人に対する思いやりの気持ちや命の大切さを尊重する心を育てることを目的としています。

「ふれあいの時間」はボランティアの方に好意で飼った犬を連れて来てもらっていますが、普段動物と接する機会のない児童にとってはとても貴重な体験となっています。

南筑後支部



人前でお話した後は、わたしはいつも反省をしています。

それは、大きくわけて、ふたつです。

ひとつは、きちんと生徒さんに伝わったかしら？

ひとつは、ふれあいに連れてきた動物に過度なストレスを与えていないか？ということです。



もちろん、人前に連れてきても気持ちが落ち着いていられる＝適性のある動物を連れて来るべきですが、いろいろと配慮をしたつもりでも、後から写真を見ると愛犬は少し疲れた顔をしています。「ああ、つきあってくれているなあ」そう感じます。

「ありがとうございます」と言って、いつもよりもおいしいご褒美を出します。「ありがとうございます」と言って、生徒さんたちにも伝わるように、やさしくゆっくり愛犬をなめます。

動物をざつにさわると、それが生徒さんにも伝わるようでいいにいていねいにさわります。いくら技術的に可能でも、動物をてあらに扱うことを生徒さんに見せると間違った事が伝わってしまいそうな気がします。言語的な表現よりも、視覚的な表現のほうが多く伝わるといいます。「言葉がつかないもの、自分より弱い者の気持ちは考えなくていいからね」そう伝わりはしないだろうか？そんな心配をするのは、わたしだけでしょうか？

「推進員活動が10年続きました」それだけでは誇れないわたしのなのでした。



これから先も 反省の連続でしょう。でも、人に何かを伝える人・動物を扱う人は常にこの自己反省が大切かと感じているこの10年目です。

宗像・遠賀支部 福島 みゆき

## ● 未来(理想)の人と動物の暮らし～in福岡～●

我が家の愛犬ゴールデンレトリバーのラスティが天国へ旅立って2年が経った。私達夫婦は、朝・晩の散歩を欠かす事もなかったし、健康にも気をつけ、お手入れもキチンとしてきたつもり。集合住宅にしては、わりと広い庭で自由に遊び、夜は(私達の寝室横の)玄関でグッスリ眠る。



ラスティにとって、あの暮らしはどうだったのか、聞けるものなら聞いてみたい。

彼にとって理想の暮らしとはどんなものだったのだろうか・・・?

本当は、エアコンの効いたリビングで、私達と一緒にテレビを見たかった?夜は私達のベッドと一緒に眠りたかった?雨の日はお散歩休んで、のんびりしたかった?

近頃、室内で飼われる犬達が増えて、そんな生活のコが多くなったかもしれない。

誰もいない庭の片隅で、鎖につながればなし。ブラッシング?何それ?なんてコが減ってきたのは、犬大好き私にとっては嬉しい事。でも、洋服着せられて、マニキュア塗られて、バッグで持ち歩かれて・・・う～ん、なら、スイグルミでいいんじゃない?ってコも多い気がする。もしかしたら、『ペット』って、そんな運命なのかもしれないけど、私は動物達(私の場合は犬!!)を『ペット』としてではなく、『家族』として一緒に暮らしたいと思う。

もしかしたら、将来、また犬との生活を始める時、我が家も室内で一緒に暮らすかもしれない。でも、犬本来の習性も尊重してあげたい。庭でも室内でも自由にできる場所と、一緒に安心して過ごせる環境を作ってあげたい。その為にはもちろん、お手入れもキチンとしてあげたい。おやつあげ過ぎでデブ犬なんてもっての他!!しつけも出来ず、社会性のない、吠えっぱなしの犬には絶対したくない。人と犬、両方の健康の為、やっぱり一緒に歩きたい。フンの放置のない、キレイな公園を安心して歩きたい。それが地域とのかかわりや防犯にもつながっていくのだと思う。

となると・・・アレアレ～?ラスティとの生活、意外と私の思う「理想の人と犬との暮らし」だったのかも???

本当のところは謎のまま・・・だけれど(笑)

でも、犬を飼う人達が、みんな、それぞれに自分の犬の事を考え、心から『大切な家族』だと感じて接していけば、辛い境遇の犬は少なくなっていくはず。

そして地域の人達が、みんなそうなっていけば、人も犬も一緒に快適に暮らせる街になっていくはず。すごくシンプルな事なんだと思う。

嘉穂・鞍手支部 宗久 尚見



注)リードを手放してのトレーニングはドッグラン内にてやっています

**筑紫保健福祉環境事務所**

住 所：大野城市大字白木原3丁目5-25筑紫総合庁舎内  
電話番号：092-513-5599  
管轄区域：筑紫野市・春日市・大野城市・太宰府市・筑紫郡

**24年度事業予定**

6月 犬のしつけ方教室・飼い主のマナーアップキャンペーン 8月 動物愛護教室 10月 犬のしつけ方教室・犬のフン取りキャンペーン  
11月 動物愛護教室 12月 犬のしつけ方教室 2月 犬のしつけ方教室 3月 犬のフン取りキャンペーン

**粕屋保健福祉事務所**

住 所：糟屋郡粕屋町大字戸原235-7  
電話番号：092-939-1744  
管轄区域：古賀市・糟屋郡

**24年度事業予定**

6月 動物適正飼養推進キャンペーン 10月 動物愛護フェスティバル 11月 動物適正飼養推進キャンペーン

**糸島保健福祉事務所**

住 所：糸島市浦志2丁目3-1 糸島総合庁舎内  
電話番号：092-322-3268  
管轄区域：糸島市

**24年度事業予定**

6月 飼い主のマナーアップキャンペーン（県企画） 10月 糸島動物いきいきフェスタ2012  
11月 犬のしつけ方教室・飼い主のマナーアップ推進キャンペーン（県企画） 12月 動物慰霊祭 2月 犬のしつけ方講座

**宗像・遠賀保健福祉環境事務所**

住 所：宗像市東郷1丁目2-1 宗像総合庁舎内  
電話番号：0940-36-6098  
管轄区域：中間市・宗像市・福津市・遠賀郡

**24年度事業予定**

6月 犬のしつけ方教室（講義編・実技編） 8月 夏休み犬のしつけ方教室 10月 犬のしつけ方教室（講義編・実技編）  
11月 飼い主のマナーアップ推進キャンペーン・犬のしつけ方教室 3月 春休み犬のしつけ方教室

**嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所**

住 所：飯塚市新立岩8-1 飯塚総合庁舎内  
電話番号：0948-21-4973  
管轄区域：直方市・飯塚市・宮若市・嘉麻市・鞍手郡・嘉穂郡

**24年度事業予定**

6月 動物適正飼養推進キャンペーン 11月 動物適正飼養推進キャンペーン

**田川保健福祉事務所**

住 所：田川市大字伊田松原通り3292-2 田川総合庁舎内  
電話番号：0947-42-9309  
管轄区域：田川市・田川郡

**24年度事業予定**

7月 子犬の飼い方教室 10月 お散歩マナーアップキャンペーン  
11月 家庭動物適正飼養マナーアップ街頭キャンペーン

**北筑後保健福祉環境事務所**

地域譲渡会 6月20日

住 所：朝倉市甘木2014-1 朝倉総合庁舎内  
電話番号：0946-22-2741  
管轄区域：小都市・うきは市・朝倉市・朝倉郡・三井郡

**24年度事業予定**

6月 動物適正飼養街頭キャンペーン 8月 動物愛護教室 9月 犬のしつけ方教室 10月 動物愛護教室  
11月 動物適正飼養街頭キャンペーン・動物愛護教室

**南筑後保健福祉環境事務所**

地域譲渡会 10月17日

住 所：柳川市三橋町今古賀8-1 柳川総合庁舎内  
電話番号：0944-72-2163  
管轄区域：柳川市・八女市・筑後市・大川市・みやま市・三潴郡・八女郡

**24年度事業予定**

6月 飼い主のマナーアップキャンペーン 9月 動物愛護教室 10月 動物愛護教室・犬のしつけ方教室  
11月 動物愛護教室・飼い主のマナーアップキャンペーン・犬のしつけ方教室

**京築保健福祉環境事務所**

地域譲渡会 11月21日

住 所：行橋市中央1丁目2-1 行橋総合庁舎内  
電話番号：0930-23-2245  
管轄区域：行橋市・豊前市・京都郡・築上郡

**24年度事業予定**

9月 動物愛護街頭キャンペーン 10月 犬のしつけ方教室 11月 猫の飼い方教室

大牟田市動物管理センター

住 所：大牟田市大浦町14  
電話番号：0944-52-7493  
管轄区域：大牟田市

24年度事業予定

6月 飼い主のマナーアップキャンペーン 9月 動物慰霊祭

11月 家庭犬のしつけ教室・飼い主のマナーアップキャンペーン

## (財) 福岡県動物愛護センター

<http://www.zaidan-fukuoka-douai.or.jp/>

住 所：古賀市小竹131-2 電話番号：092-944-1281

### 犬のしつけ方教室

一般コース (講義1回) 一般コースでは、犬連れでの参加は出来ません。

5月16日・8月18日・11月14日・H25年3月16日

子犬コース (講義1回・実技2回) 参加する子犬は狂犬病予防接種とワクチン注射の接種が必要となります

6月12日・19日・26日 10月9日・16日・23日

事前講習会 (子犬の譲渡には事前講習会の受講が必要となります。)

4月4日・18日 5月23日 6月6日 7月4日 8月1日 9月5日 10月3日  
11月7日 12月5日

H25年 2月6日 3月6日

子犬の譲渡会 (希望者多数の場合は抽選となる場合もあります。)

4月7日・21日 5月26日 6月9日 7月7日 8月4日 9月8日 10月6日  
11月10日 12月8日

H25年 2月9日 3月9日

成犬・ねこの譲渡につきましては、センターへお問い合わせください。

地域での子犬の譲渡会・愛護教室・しつけ方教室・その他のイベントは、各関係機関へお問い合わせ下さい。

また、北九州市・福岡市・久留米市につきましては当該市にお問い合わせ下さい。

### 福岡県動物愛護推進員とは・・・

動物愛護管理法に基づいて福岡県知事から委嘱を受けたボランティアです。県内の各地域で、動物の愛護と管理、特に犬やねこの適正飼養や不要な繁殖の防止(不妊去勢処置)などの普及啓発について、様々な活動を展開しています。県では、福岡県動物愛護推進協議会を組織して推進員の活動を支援しています。



表紙の写真: 虎多郎(こたろう)くん

財団法人 福岡県動物愛護センター出身。

左の写真は、センターでいつか出会える飼い主さんを待っている頃の写真です。

## 「きずな」第10号の発刊に寄せて

「動物の愛護及び管理に関する法律」が昭和48年に制定されて、38年が経過しました。

福岡県では平成14年2月に福岡県動物愛護推進協議会が設置され、県下10か所の協議会支部を中心として、人と動物が共生できる社会づくりを進めていくため、地域に密着した動物愛護の普及啓発活動が展開されています。

(社)福岡県獣医師会は福岡県から業務委託を受け、県民への動物愛護思想の普及推進、動物愛護に関する講習会への講師派遣、動物愛護推進リーフレット「きずな」の作成配布を実施しています。この「きずな」も今回で第10号の発刊となりました。これも偏に関係の皆様方のご協力があったことだと感謝致しています。これからも動物愛護団体やボランティアの皆様方と手を取りあって県民への動物愛護思想の普及啓発・定着化に努めて参りたいと考えています。

(社)福岡県獣医師会会長 藏内勇夫



## 編集後記

10年目を迎えた「きずな」 去年は、この「絆」を考えさせられる年でもありました。この冊子「きずな」を通して、動物たちと共生すること動物の立場にたつてもっともっと考える機会をつくっていただければうれしいです。

宗像・遠賀支部 森 竜一

### 福岡県動物愛護推進員ニュース「きずな」第10号

発行者:福岡県 発行日:2012年3月

編集者:社団法人 福岡県獣医師会 住所:福岡市中央区赤坂1丁目4番29号